

△産報運動に就いて（速かに具體的活用を圖れ）（報知）

産業報國運動は首腦部の人選も決定、愈々今月末より本格的運動の段階に入る模様である。産報運動は昭和十三年春、時局對策委員會に於て産業平和、勞資關係の調整を目的に採り上げられたものであるが、既に今日では設立當時の任務に比し遙かに積極的な使命を擔はされてゐる事は勿論である。即ち産報の役割は生産力の擴充、生産技術の向上に缺くべからざるものになりつつある。されば同運動の時局下における重要性に鑑み速かに中央本部を結成し全國組織の態勢を整へて運動に着手せん事を切望する。高度國防國家の建設等、現下の我國は産業人の双肩に負ふ所が實に大なるものがある。されば産報は其機能を完全に活用して全産業人の勤勞を最高度に發揚し、以て高度國防國家の完成を推進することが緊要な任務であつて、新幹部の努力と全勤勞者のこれに對する理解とを切に望む次第である。

△其他—（略）—「參謀總長宮御離任」（日日）（讀賣）（國民）（都）「米作減收こそ  
の對策」（讀賣）

外國宣傳情報第一號

內閣情報部一〇・五

周恩來の日獨伊同盟評

一同盟入電一不發表一

香港三日發同盟

中共代表周恩來は九月廿九日中華職業學校の求めに應じて日獨伊三國同盟條約の成立に伴ふ世界情勢について二千名の聽衆の前に一大演説を試みたその詳細は次の如くである  
一、世界は將に如何なる方向に向つて進みつゝあるか世界は現在廣汎な戰爭が進行中であるがその内三つの異なる陣營が認められる即ちその一は世界覇權の爭奪戰爭形式でこれは獨逸對英米の對立抗爭にまで發展してゐるその二は解放戰爭即ち被壓迫民族の革命運動でこれが主要代表は中國の抗戰である其三は和平政策を堅持して戰爭の外に立つ社會主義のソ聯で同國は日に日に堅強壯大となつて民族開放運動に對する援助力を増しつゝある以上三種の發展の發展は全世界の趨勢に對する答案である。

二、中國は如何なる方向に向つて進みつゝあるか

中國現在の局勢下に於て吾人の主要闘争目標は依然として日本である、然し乍ら吾人は當然世界の大幅局面に對處すべく獨立の立場を堅持しなければならぬ、斯くして始めて吾

123

人は自己の解放を遂げるべく且つ全世界人口の半數以上の被壓迫民族の解放に導く事が出来らざれば、これが爲には自力更生抗戦徹底の既定方針に従はなければならぬ。

三 歐洲の趨勢と歐戦は幾多の浮動段階を通過したその一段階は戦争開始の前後で英佛は終始この戦争を反ソ戦争に轉化せしめんとする幻想を抱いた第二段階は持久戦争と即決戦の闘争であるその間英佛は戦争の持久と擴大の戦略を、ドイツは宣傳戦と各個擊破の戦法を採つたのであるが双方とも失敗に歸した佛國は屈服し近衛は再出陣したが米國がイギリスを支持するに及んでその對英攻撃がはかばかしくなくなりドイツの政策は益々日本を利用して極東より米國を牽制せしめる事になつたので英米も又同一陣營に立つ事が必要となり茲に日獨伊對英米の二大陣營の對立を形成し來つたがこれは戦争が必然長引を擴大する事を證明するものである。

#### 四 日米關係破綻の前途

自力更生を本として各國間の矛盾は當然利用しなければならぬが外援については幻想を抱いてはならない今後の客觀情勢は益々日本をして南進せしむべく三國同盟の成立は一層日米の對立を尖鋭化した、併し乍ら日米間の矛盾の發展は決して急轉直下直ちに一大衝突を惹起する事なく迂餘曲折があらうがそれにも拘らず日米關係は結局衝突すべき方向に向つて進んでゐる。

#### 五 ソ聯は如何なる立場を保持するか

ソ聯が帝國主義戦争の戦禍から離脱せんとしてゐるのは反ソ陰謀の勃發を防ぎ社會主義國家の力を強化せんが爲めである、ソ聯は現に平和中立政策をとつてゐる、但しその被壓迫民族の革命運動援助と善隣友好は一箇の和平政策の兩面をなすものである、而もその中國援助はソ聯の世界革命政策に根據するものであるから同國の日米戦争と日支戦争に對する觀點と態度は同様であり得ない、ソ聯の日米衝突に對する態度は明らかに中立的だが日支戦争に對しては明らかに支那側に同情的でありソ聯は必ずや吾人に對する援助を繼續するであらう。

#### 六 中國は如何なる立場を執るべきか、

自力攻勢と抗戦徹底は吾人の最も堅持する最高政策でなくてはならぬ、日米衝突を幻想してはならぬ、而も日米衝突を利用して日本に反對しなければならぬ米國の二千五百萬弗の新借款に對しては勿論感謝すべきもそれは三千萬噸の鐵物を以て償ひ來つたものである新米派の張彭春は嘗つて英米の對支援助なるものは要するに、吾人をして飽かず餓えさせない程度のものであると云つた事は忘れてはならない獨伊に對する吾人の態度は之が歐洲に關する限り吾人は中立を守るべきだが然しそれが太平洋に於て軍事的經濟的に日本を支持するに於ては吾人は猛然之に反對しなければならぬ、ソ聯に對しては須く疑迷の念を去るべきである。

外國宣傳情報第二號

内閣情報部一〇五

一 成都中央通信社新聞電報放送

(臺灣總督府交通局遞信部聴取)

十月一日

一 (重慶發) 月曜日王寵惠外交部長は日獨伊三國同盟に對する支那の態度に關し支那及外國人記者の質問に答へて左の如く述べた。

日獨伊三國は九月二十七日同盟條約を締結し之によつて日本は獨伊兩國の歐洲に於ける指導的立場を認めると共に獨伊兩國も又東亞に於ける日本の新秩序建設を認めるに至つたのである。而して右條約は東亞及歐洲に於ける他の東亞及歐洲各國の合法的立場及權益を全く無視し之を破壊せんとするものである。

支那政府は世界各國が平等な立場を以て友好裡に生活し得るためあくまで國際公法を嚴守せんとする方針である。故に新秩序建設の美名にかくれて合法的國際秩序を破壊せんとする侵略的行爲に對しては支那は其の傳統的政策に基き斷乎之に反對するものにして支那は官民擧つて世界秩序維持のため抗戰繼續を決議してゐるのである。支那政府は所謂大東亞新秩序なるものを認めず特に日本の東亞の覇主たる主張に對しては之をあくまで否認し、三國間に締結された如何なる條約も協定も支那の合法的立場及權益を左右す

支那の對する態度に關し支那及外國人記者の質問に答へて左の如く述べた。日獨伊三國は九月二十七日同盟條約を締結し之によつて日本は獨伊兩國の歐洲に於ける指導的立場を認めると共に獨伊兩國も又東亞に於ける日本の新秩序建設を認めるに至つたのである。而して右條約は東亞及歐洲に於ける他の東亞及歐洲各國の合法的立場及權益を全く無視し之を破壊せんとするものである。支那政府は世界各國が平等な立場を以て友好裡に生活し得るためあくまで國際公法を嚴守せんとする方針である。故に新秩序建設の美名にかくれて合法的國際秩序を破壊せんとする侵略的行爲に對しては支那は其の傳統的政策に基き斷乎之に反對するものにして支那は官民擧つて世界秩序維持のため抗戰繼續を決議してゐるのである。支那政府は所謂大東亞新秩序なるものを認めず特に日本の東亞の覇主たる主張に對しては之をあくまで否認し、三國間に締結された如何なる條約も協定も支那の合法的立場及權益を左右す